

事業報告書

(案)

平成28年度

社会福祉法人 和光福祉会

- ・ 法人事業
- ・ 熊取療育園
- ・ 共同生活援助事業
- ・ つばさ
- ・ 熊取療育園相談室
- ・ ひろば
- ・ ワークいっぽ
- ・ わこう

目次

・ 法人事業

- 1. 理事会・評議員会～ P 1
- 3. 地域・社会貢献活動～ P 2
- 5. 法人内研修 P 3

・ 熊取療育園

- はじめに～ 4. 各事業利用率 P 4～P 6
- 5. 施設入所支援 P 7
- 6. 生活介護事業 P 15
- 7. 行事 P 17
- 8. 医務 P 18
- 9. 給食 P 23
- 10. クラブ活動～ 16. 避難訓練 P 25～P 32

・ 共同生活援助事業

- 1. 支援体制 P 33
- 4. 各ホーム事業の状況 P 36

・ つばさ

- 1. 提供日数と利用状況～ P 42

・ 熊取療育園 相談室

- 1. 特定相談支援事業～ P 45

・ ひろば 地域活動支援センター 型

- 1. 提供日数と利用状況～ P 47.

・ ワークいっぽ

- 1. 提供日数～ P 49
- 就労継続支援B型事業 P 53
- 就労移行支援事業 P 55

・ わこう

- 1. 事業の目的～ P 56

． 法人事業

1. 理事会・評議員会等

日 時	内 容
平成 28 年 5 月 18 日(水)	監事監査（事業報告・決算報告）
5 月 28 日(土)	評議員会・理事会（事業報告・決算報告）
10 月 21 日(水)	後援会主催 チャリティゴルフコンペ開催
11 月 27 日(日)	地域交流フェスティバル
12 月 22 日(金)	評議員会・理事会（社会福祉法人改革関連）
平成 29 年 1 月 27 日(水)	理事会（社会福祉法人改革関連）
平成 29 年 3 月 24 日(金)	評議員会・理事会（事業計画・予算）

2. 和光福祉会 中長期計画 実施状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(1)計画期間 期（平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月）

(2)計画内容

既存施設設備の改装・修理・改修

新規障がい福祉サービス事業の創設

既存障がい福祉サービスの拡充

- 1 熊取療育園 生活介護事業の拡充

→現状維持、増員にはつながっていません。

- 2 障がい福祉サービス事業 つばさの増員

→現状維持、増員にはつながっていません。

職員の資質向上

法人全体で平成 28 年 4 月から 6 月までの 3 回、初任者～5 年目までの職員、中堅・主任職員の研修を実施。

外部監査・第三者評価の実施

今後実施にむけて検討。

3. 地域・社会貢献活動 行動指針 実施報告

(1)行動の目的

地域の声を傾聴し、地域とともに発展する組織を目指す。

地域社会の福祉システムの構築に主体的にかかわり、さまざまなニーズを有する

人びとに対する支援の拠点たる役割、機能を担う。

地域の活性化、つながりの構築に向けて多様な生活課題の解決に取り組む。

(2)行動指針に基づく現状

地域に開かれた法人づくりを目指す。

3月に災害時における福祉避難所協定を熊取町と締結することができました。
多種多様な機関などとの連携、協力する。

熊取町の施策推進委員会や自立支援協議会などに参画、町の福祉行政の一助、役割を担う事ができています。

10月以降、CSWとしての活動を活性化し、地域の生活困窮者の相談支援事業に取り組みました。

障がい者に対する理解の促進をする。

泉州 ODF に参加、今年度も2月に地域生活についてのシンポジウムを開催。
地域とのつながりを構築します。

通学時の生徒の見守り支援を継続して行うことで、南小学校との関係をより深め、花壇整備を実施するなど、利用者と生徒との新たな交流の場を創出することができた。

南小学校の学校協議員にも任命していただき、学校との関係構築をより一層図ることができました。

4. 法人スローガンに関して

「 観てるより、まず行動 」

各事業所において、傍観者となることなく積極的に支援を行うことを意識していただいた。

5. 広報活動

「くまちゃんつうしん」・「相談室だより」について

発行日を毎月1日として長年続けてきましたが、28年度9月号にて廃刊、10月より法人季刊広報誌「なごみ」として再スタートとした。

「なごみ」について

季刊誌として、28年10月に第1号、29年1月に第2号を発刊。

6. 法人内研修

(1)法人内初任・中堅研修

27年度の引き続きとして、今年度もプラスマインドパートナーズの指導の下、全体研修を実施。

研修内容 初任者向け研修
中堅・主任向け研修

講師 中西 康夫氏

日時

- ・初任者向け研修
 - 第6回 4/6(水) 9:30~12:30
 - 第7回 5/11(水) 9:30~12:30
 - 第8回 6/1(水) 9:30~12:30
- ・中堅・主任研修
 - 第6回 4/20(水) 9:30~12:30
 - 第7回 5/25(水) 9:30~12:30
 - 第8回 6/15(水) 9:30~12:30

法人内スタッフが2つの集団に分かれて参加しました。

内容については、キャリアパス要件の考え方に沿ったものとして実施。

(2)法人内全体研修

第1回全体研修

- 個別支援計画立案について
 - ・事前に配布したケース資料による個別支援計画の立案。
 - ・ファシリテーターは、見学と北村の2名で実施。

第2回全体研修

- 虐待・不適切支援について
 - ・神戸市作成の介護施設における不適切支援のDVDを鑑賞。
 - ・自身の支援チェックの実施。
 - ・個々の感想などを発表することで共有化を図った。

7. 生計困難者に対する相談支援事業

(1) 相談実績(5ケース)

対象者	相談内容	経過	終結 or 継続
A	離職による生活困窮。	就職も決まり、支援の必要性がなくなった。	終結
B	離婚により、家賃滞納による困窮状態。	面談の中で両親と同居することが望ましいと説得。	同居が決まり終結
C	病気による就労困難で生活困窮。生活保護を受給したいが持家の為、なかなか適用していただけない状態。	家の処分で親族間での意見の相違があり、一歩前に踏み出せない状態。	継続
D	夫婦ともに解雇による生活困窮。	夫婦ともに就職が決まる。	終結
E	内縁状態の男性との不仲により、生活困窮状態となる。	持病があり、就職できない状態。生活保護申請し、受理される。ただ、生活状況で支援が必要なことがまだあると考えられる。	継続

・ 熊取療育園

はじめに

重点目標に関して

組織体制を刷新、各フロアにリーダーを配置、日中活動にもリーダーを配置した。

従来通りご利用者 1.7 名に対して支援スタッフ 1 名という体制を堅持、年度途中より日課を変更し午後の時間帯に入浴を設定することで見守りのスタッフを増員。また、食事支援についても席替えや時間の設定変更を行うことでゆとりを持って食事していただけるよう、配慮を行った。

自治会活動については、ご利用者主体と言うところに主眼を置き、意思表示、意思決定の支援を行ってきたが、なかなか困難さもあり、今後も支援を継続していきたいと考えています。

1. 職員の動向

〔採用〕 男性 2 名 女性 2 名

職員名	採用年月日	職種	勤務形態
M . K	4.1	生活支援員	常勤
A . U	5.1	生活支援員	常勤
M . M	11.1	生活支援員	常勤
H . H	11.1	生活支援員	常勤

〔退職〕 男性 1 名 女性 1 名

職員名	退職年月日	職種	勤務形態
Y . T	12.31	生活支援員	常勤

2. ご利用者の動向

入所（施設入所支援） なし

ご利用者名	性別	該当福祉	入所日	入所前の状況
N . S	男性	熊取町	10.1	家庭(長期ショート利用)
K . F	女性	熊取町	10.17	家庭(定期的ショート、日中一時利用)

退所（施設入所支援） なし

ご利用者名	性別	該当福祉	退所日	退所後の状況
H . T	女性	泉佐野市	7.30	ホームサンフェローにて地域生活
K . Y	男性	貝塚市	3.1	病院にて永眠

新規利用（生活介護） なし

入院（3か月以上長期） 3名

ご利用者名	性別	該当福祉	入院期間	退院後の状況
K.H	男性	泉佐野市	前年度～8.5	病院にて永眠
S.F	女性	大阪狭山市	前年度～7.19 12.1～年度末まで	K病院にて治療、投薬調整

3. ご利用者の状況（H29.4.1現在）

年齢 下段については生活介護事業

歳	20～ 24	25～ 29	30～ 34	35～ 39	40～ 44	45～ 49	50～ 54	55～ 59	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～	平均
男性	0 0	0 0	2 2	2 2	2 2	7 7	6 6	3 3	2 3	1 1	0 0	1 1	50歳11か月 51歳2か月
女性	1 1	1 1	1 1	1 1	2 2	3 3	2 3	4 4	3 3	4 4	1 1	1 1	54歳1ヶ月 53歳4か月
合計	1 1	1 1	3 3	3 3	4 4	10 10	8 9	7 7	5 6	5 5	1 1	2 2	52歳5か月 52歳3か月

障がい支援区分

下段については生活介護事業

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
男性	0 0	0 0	0 0	6 6	12 13	8 8	5.08 5.07
女性	0 0	0 0	2 2	3 3	11 12	8 8	5.04 5.04
合計	0 0	0 0	2 2	9 9	23 25	16 16	5.3 5.29

療育手帳 下段については生活介護事業

	A	B1
男性	23 24	3 3
女性	21 22	3 3
計	44 46	6 6

精神保健手帳保持者 1名

身体障がい者手帳保持者 8名

4. 各事業利用率

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	270
実利用者数	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	54	648
利用日数計	1,016	1,020	1,025	1,071	1,046	1,018	1,093	1,061	1,099	1,098	973	1,101	12,621
利用率	0.98	0.94	0.99	0.99	0.97	0.98	1.01	1.03	1.02	1.02	1.04	1.02	1.00

施設入所支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	612
利用日数計	1,428	1,432	1,448	1,531	1,466	1,440	1,512	1,491	1,506	1,489	1,382	1,468	17593
利用率	1.01	0.98	1.03	1.05	1.01	1.02	1.04	1.06	1.03	1.02	1.05	1.01	1.03

短期入所事業（率計算 定員を5として算出）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	10	9	10	12	12	11	10	8	8	8	10	12	120
利用日数計	112	119	122	153	163	140	121	112	117	123	121	155	1,558
利用率 (5人基準)	0.75	0.77	0.81	0.99	1.05	0.93	0.78	0.75	0.75	0.79	0.86	1.00	0.85

日中一時支援事業（率計算 定員を3として算出）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月次日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	12	12	14	14	13	14	14	12	11	11	11	11	149
利用日数計	43	55	69	67	61	62	57	52	46	43	54	51	660
利用率 (3人基準)	0.48	0.59	0.77	0.72	0.66	0.69	0.61	0.58	0.49	0.46	0.64	0.55	0.60

短期入所・日中一時支援事業利用人数(合算 率計算については定員を8として算出)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短期利用人数	3.73	3.84	4.07	4.94	5.26	4.67	3.90	3.73	3.77	3.97	4.32	5.00	4.27
日一利用人数	1.43	1.77	2.30	2.16	1.97	2.07	1.84	1.73	1.48	1.39	1.93	1.65	1.81
合算利用人数	5.16	5.61	6.37	7.10	7.23	6.74	5.74	5.46	5.25	5.36	6.25	6.65	6.08
合算利用率	0.76	0.70	0.80	0.89	0.90	0.84	0.72	0.68	0.66	0.67	0.78	0.83	0.76

5. 施設入所支援

支援について

ご利用者の高齢化や多様化するニーズに応えるために支援体制を 1.7：1 及び夜間支援体制 3 名で実施。

同性介助支援が必要な支援以外に関しては、見守りや食事、移動支援などは、スタッフの性差関係なくご利用者に対して支援を行うことができました。

日中の介護入浴を取り入れたことで今まで浴槽で温まらなかった方々に快適な入浴サービスを提供することができ、さらに職員数の多い日中に入浴することで入浴中の事故等の防止をすることができ快適に入浴していただけるようになりました。

長年使用していた食堂の椅子と机を新しいものに変更し、ご利用者一人一人の体型や姿勢に合わせた椅子を購入し快適に食事をしてもらうことが出来ています。

生活状況について

(ア)4月から6月

今年度は生活介護の時間帯に介護入浴を取り入れ、日課の変更を行いました。大きく混乱すること無く、みなさんすぐに馴染まれました。5月29日には親子ハイキングで永楽ダムへ、6月13日の春の旅では、滝の湯と岬公園に全員で出かけて楽しまれました。

(イ)7月から9月

熱中症対策として夜間巡回時(0:00、1:30、3:00)に居室の室温と湿度の計測、脱水回避のため、起床時・朝礼前・午前活動後・午後活動前・入浴前・就寝前に水分補給を実施。このことにより、熱中症の発症は有りませんでした。8月14日には毎年恒例の納涼会を行いました。今年は初めての大規模開催を行い、園庭に大型の櫓を組み、提灯をつけての開催でご利用者の方々には大変ご好評をいただきました。今後は保護者様や近隣住民の方々への参加を目標としていきます。園で収穫したスイカも食べました。

(ウ)10月から12月

秋の全体外出では、近隣の成合ふれあいセンターでデイキャンプを行い、園で収穫したサツマイモを焼き、カレーライスを作って食べました。みなさん慣れないながらも料理を楽しまれました。この期間は熊取療育園では最も行事の多い期間で、ハロウィン、町民文化祭、地域交流フェスティバル、農業祭、クリスマス会と年末までご利用者の皆様は忙しそうに過ごされていました。年末行事では数年ぶりに「餅つき」を復活し、皆で楽しみました。ご利用者の皆様も久しぶりの餅つきとあってか、大変喜ばれました。ついた餅は鏡餅にして、飾りました。

(工)1月から3月

新年会では数年ぶりに新成人 2 名（短期利用のご利用者）のお祝いを行いました。同時に還暦の方のお祝いも行い、おいしい料理と午後にはゲームやカラオケなどをして楽しめました。

外出について

(ア) 男性F 支援・OP 外出実績

4月

日付	人数	外出先
10	1	日根野イオン
11	2	イエローシート
16	1	セブンイレブン
17	2	かっぱ寿司&イオン
	1	マクドナルド
23	1	原子炉前ローソン
27	1	散髪&ローソン

5月

日付	人数	外出先
4	1	日根野イオン
8	2	しまむら・泉南イオン
10	1	原子炉前ローソン
16	1	日根野イオン
17	1	かっぱ寿司・イオン
21	1	セブンイレブン
25	2	熊取王将
26	1	散髪・ローソン
27	1	日根野イオン

6月

日付	人数	外出
7	1	原子炉前ローソン
13	全員	春の旅
18	1	かっぱ寿司・イオン
19	2	日根野イオン・スシロー
26	1	セブンイレブン
29	2	セブンイレブン・南小公園
	1	散髪・ローソン

7月

日付	人数	外出先
6	1	原子炉前ローソン
9	2	いこらモール

7月 続き

21	1	かっぱ寿司・イオン
23	1	泉南イオン
28	1	散髪
31	1	日根野イオン

8月

日付	人数	外出先
4	1	原子炉前ローソン
6	2	自由が丘フェス
8	1	セブンイレブン
11	2	イエローシート
13	1	セブンイレブン
17	1	いこらモール
23	1	かっぱ寿司・イオン
24	1	りんくうアウトレット
25	1	ローソン・長池公園
	1	日根野イオン
28	1	散髪・ローソン
31	1	いこらモール

9月

日付	人数	外出先
3	1	原子炉前ローソン
4	1	日根野イオン
10	3	熊取王将
11	3	美笹の湯
17	1	マクドナルド
19	2	マーブルビーチ
20	1	平野の台・泉南イオン
24	2	かつ喜・泉南イオン
26	1	泉南イオン
28	2	万代・マクドナルド
29	1	日根野イオン

10月

日付	人数	外出先
1	2	ローソン・長池公園
	1	セブンイレブン
4	2	かつ喜・泉南イオン
8	9	スポーツフェスタ
11	2	イエローレシート
	1	原子炉前ローソン
13	11	マールビーチ
15	2	セブンイレブン
16	2	セブンイレブン
	1	万代・熊取駅周辺
20	2	びっくりドンキー
23	1	散髪
26	3	南小芸術鑑賞会
27	全員	秋の旅
28	4	サイクルスポーツセンター
	1	散髪・ローソン

11月

日付	人数	外出先
8	1	原子炉前ローソン
15	2	犬鳴山ハイキング・温泉
16	3	セブンイレブン・永楽ダム
17	1	かつば寿司・イオン
19~20	1	名古屋1泊外出
21	2	セブンイレブン・南小公園
22	1	セブンイレブン
24	10	ナイスハート
29	1	散髪・ローソン

12月

日付	人数	外出先
8	1	原子炉前ローソン
11	2	イエローレシート
	1	セブンイレブン
12	1	日根野イオン

12月続き

15	4	ビッグボーイ
17	4	かつば寿司&いこらもーる
	1	泉南イオン&シークル
19	2	セブンイレブン
21	3	永楽ダムハイキング
24	1	散髪・ローソン
26	4	みさき公園

1月

日付	人数	外出先
2	8	初詣
3	8	初詣
4	1	原子炉前ローソン
8	2	りんくうドライブ
14	4	マクド・イオン・永楽ダム
15	1	カラオケ&スシロー
18	3	熊取歴史公園
26	1	彦治郎(定食屋)
	1	ローソン長池公園
28	15	コンビニ外出
	1	王将・二色浜公園
29	1	散髪・ローソン

2月

日付	人数	外出先
5	1	セブンイレブン
7	2	ひまわりドーム
	1	原子炉前ローソン
9	2	ラウンドワン
10	1	永楽ダムハイキング
11	2	イエローレシート
12	1	セブンイレブン
13	1	彦治郎(定食屋)
18	3	水間公園・熊取王将
	1	セブンイレブン

2月続き

23	2	セブンイレブン
24	1	日根野イオン
25	1	日根野イオン
	1	泉南イオン&二色浜公園
26	3	いこらもーる&永楽ダム
	1	マクドナルド
27	2	さぬきや・日根野イオン
28	2	コンビニ外出
	1	散髪・ローソン

3月

日付	人数	外出先
7	6	いちご狩り
9	1	原子炉前ローソン
11	1	彦治郎(定食屋)
13	1	シークル&日根野イオン
19	1	日根野イオン
	6	みるコンサート物語
20	1	コンビニ外出
22	3	ふれあい広場
24	2	かっぱ寿司&イオン
25	1	泉南イオン・二色浜
	1	彦治郎(定食屋)
28	1	長池公園ローソン
30	1	散髪
31	2	彦治郎(定食屋)

(イ)男性F 日中活動内外出

4月

日付	人数	行き先
9	10	ふれあい広場
16	10	長池公園
	15	永楽ダム・朝代公園

5月

日付	人数	行き先
8	8	長池公園

6月

日付	人数	行き先
4	6	熊取小学校運動会
6	11	長池公園
11	10	長池公園

9月

日付	人数	行き先
10	13	長池公園・南小公園
17	5	長池公園

11月

日付	人数	行き先
2	13	長池公園
3	9	長池公園
12	10	長池公園
16	4	関西国際村
25	4	南小コンサート
28	7	長池公園
29	5	長池公園

12月

日付	人数	行き先
4	4	農業祭
4	6	ドライブ
10	10	長池公園
17	8	国際村公園
20	3	南小学校
24	3	南小公園
	16	長池公園
31	6	長池公園

1月

日付	人数	行き先
5	3	南小公園

2月

日付	人数	行き先
21	7	長池公園
22	6	国際村公園

3月

日付	人数	行き先
11	6	長池公園
18	7	長池公園
19	6	国際村公園
22	9	国際村公園
	3	長池公園
23	13	長池公園
25	7	長池公園
26	6	長池公園
27	11	長池公園
28	7	長池公園
29	7	日光浴
	11	長池公園

(ウ) 女性F 支援・OP 外出実績

4月

日付	人数	外出先
2	1	マンダイ
9	1	いこらモール
10	1	日根野イオン
15	3	白浜旅行
18	1	マンダイ・マクドナルド
19	1	尾崎オークワ
24	1	水間公園

5月

日付	人数	外出先
7	1	尾崎オークワ
10	1	りんくうシークル
11	2	日根野イオン
14	1	日根野イオン
21	2	美笹の湯
27	1	日根野イオン
29	24	ハイキング永楽ダム
31	1	日根野イオン

6月

日付	人数	外出先
4	1	尾崎オークワ
13	全員	春の旅
28	3	泉佐野周辺
29	1	いこらモール

7月

日付	人数	外出先
2	1	尾崎オークワ
11	2	日根野イオン
28	1	りんくうの湯

8月

日付	人数	外出先
6	1	尾崎オークワ
	1	一心寺・阿倍野ハルカス
9	3	サザンピア泉南
16	2	関西聖地霊園
20	1	マンダイ
22	1	マンダイ

9月

日付	人数	外出先
3	1	マクドナルド
	1	日根野イオン
11	3	ひまわりドーム
	2	日根野イオン
17	1	マンダイ
23	1	日根野イオン
24	2	丸亀うどん・マンダイ
26	1	いこらモール
27	1	いこらモール

10月

日付	人数	外出先
1	1	日根野イオン
3	1	マンダイ
	1	日根野イオン
8	7	スポーツフェスタ
15	1	珈琲館
23	2	セブンイレブン
23	1	ノア美容室
24	1	しまむら・日根野イオン
	1	ローソン
27	全員	秋の旅
29	2	日根野イオン
	1	ローソン

11月

日付	人数	外出先
5	1	日根野イオン
11	2	日根野イオン
19	1	いこらモール
23	3	水間公園
24	9	ナイスハート

12月

日付	人数	外出先
3	1	日根野イオン
10	1	マンダイ

12月続き

17	2	日根野イオン
19	5	ドライブ外出
25	1	日根野イオン

1月

日付	人数	外出先
1	6	日根野神社
2	1	水間寺
3	5	日根野神社
	3	大森神社
13	1	和食さと
14	1	日根野イオン
	1	ひまわりドーム
17	1	いこらモール
21	1	ひまわりドーム
22	2	虹の湯
28	1	ひまわりドーム

2月

日付	人数	外出先
4	1	マクドナルド
9	2	ラウンド1
18	2	ほの字の里
	1	ひまわりドーム
24	2	ガスト
25	1	ひまわりドーム
26	3	本家さぬきや
28	1	しまむら・日根野イオン

3月

日付	人数	外出先
3	1	ドライブ外出
4	1	日根野イオン
	1	ひまわりドーム
5	1	泉南イオン
11	2	日根野イオン
	1	ひまわりドーム
16	4	ガスト・いこらモール

3月続き

18	1	日根野イオン
	1	日根野イオン
19	6	アコムみるコンサート
20	2	お好み焼き屋
21	1	マクドナルド
25	4	和歌山方面
	1	ひまわりドーム

(エ) 女性F 日中活動内外出

4月

日付	人数	行き先
11	6	長池公園
	3	南小公園
19	1	長池公園
24	4	永楽ダム

5月

日付	人数	行き先
8	5	長池公園
12	2	南小公園
14	4	長池公園
16	6	ふれあい広場
17	5	南小公園
22	2	南小公園
26	4	朝代公園

6月

日付	人数	行き先
6	6	長池公園
14	5	南小公園
20	1	体大前
26	3	長池公園

7月

日付	人数	行き先
1	6	長池公園
14	5	長池公園
21	2	国際村公園

8月

日付	人数	行き先
5	3	国際村公園
27	3	長池公園

9月

日付	人数	行き先
8	1	永楽ダム
19	1	南小公園

10月

日付	人数	行き先
1	2	長池公園
6	1	南小公園
11	5	長池公園
20	3	長池公園
29	3	長池公園

11月

日付	人数	行き先
2	5	長池公園
30	6	長池公園

12月

日付	人数	行き先
5	6	長池公園
10	1	長池公園

2月

日付	人数	行き先
11	3	南小公園
25	2	長池公園

3月

日付	人数	行き先
11	3	朝代周辺
22	5	長池公園
23	4	長池公園

(注) OPとはオプション外出の略称

6. 生活介護事業

目標

「達成感」や「自尊感情」を持ってもらう事と「介護予防」を目標とする。軽作業を通し働く意義と喜びを知ってもらう事に加え、近年進んでいる高齢化に対応するため、車いすのまま入浴できる機器を導入しこれまで浴槽で温まらなかった方々向けに生活介護時間に入浴をしてもらうことにより、健康維持、増進を図ってもらう。さらに軽運動やリハビリに取り組み、長年健康に過ごしていただくことを目標とする。

内容

モビロン・・・残糸処理
空き缶つぶし・・・缶の洗浄、及び分別
歩行・・・体力維持と気分転換
音楽・・・カラオケや合唱をすることでのストレスの解消
園芸・・・植物の育成・野菜の販売
おやつ作り・・・材料の買い出しから調理を体験していただく。
足浴・・・フットケア・リラクゼーション
音楽・・・音楽鑑賞、カラオケ、合奏、合唱
季節の行事・・・月毎の季節行事
創作・・・絵画、書道、ペーパークラフト、ちぎり絵
軽運動・・・ボールや遊具を使用した軽運動
歩行・・・屋外歩行・屋内歩行
機能訓練・・・体幹トレーニング（体力の維持・向上）
入浴・・・車いすで入浴できる機器を導入し、特浴を行い健康増進する
古紙回収・・・古新聞の回収、分別、リサイクル

活動の様子

今年度も紙管分別作業が好調に推移し加えて段ボールリサイクルも段ボール価格の上昇により好調であったため安定した収益を得ることができました。空き缶やペットボトルのリサイクル作業などにも取り組みました。こちらは入荷が保護者、及び関係者に依存しているため今後は安定収入が目標と考えています。

昨年度より取組んでいる園芸をより多くのご利用者に行ってもらい11月の町民文化祭で春菊の販売を行いました。昨年ご購入頂いた方がリピートで購入し、さらに評判が大変良かったため、今年度は増産体制をとり、昨年のに3倍程度の量を用意しましたが開店1時間で売り切れてしまいました。町民文化祭での売り上げは前年度の3倍に伸び、同様に農業祭で行った春菊、水菜の販売も午前中で完売する等、大変ご好評頂きました。屋上で育てたスイカは納涼祭で皆で食べるなど楽しいひと時を過ごしました。

介護面では歩行困難な方等にも出来るだけ運動を取り入れ、創作（行事の飾り作り）などを通して活動意欲の向上や精神面での安定に取組みました。文化祭では1名ではありますが、芸術クラブから張り絵を出展し、期間中煉瓦館で展示を行いました。

今年度より新しい作業として、朝日新聞より依頼を受け古紙回収を行いました。熊取町及び泉佐野市の特定のご家庭より古紙を回収し、それをご利用者と共に分別しリサイクルして収益を得ます。今年度は分別のみご利用者に参加していただきましたが次年度は回収にも職員と一緒にいくことが出来ればと考えています。

収益

景気の動向から紙管リサイクルや段ボールのリサイクルが好調に推移しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不燃系分別代	5,010	3,420	6,570	3,080	6,280	6,180	6,020	4,320	2,880	0	12,220	4,320	60,300
紙管リサイクル	2,880	5,300	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,380
段ボールリサイクル	8,940	4,770	4,790	8,570	5,220	6,460	4,640	4,390	6,470	9,460	4,420	10,310	78,440
新聞リサイクル	20,600	20,300	10,630	6,050	32,200	0	7,700	36,150	20,820	17,650	23,940	22,400	218,440
空き缶	0	3,675	0	2,160	0	0	2,302	3,580	0	0	8,631	0	20,348
ペットボトルリサイクル	0	0	0	0	0	0	0	1288	0	0	0	0	1288
バザー等	0	0	0	0	0	0	0	103400	6150	0	0	0	109550
合計	37,430	37,465	23,190	19,860	43,700	12,640	20,662	153,128	36,320	27,110	49,211	37,030	497,746

収益分配について

工賃として243,750円分配しました。残金は来年度へ繰越しています。

7. 行事

日付	行事の内容
6月4日(土) 6月13日(月)	南小学校運動会 春の旅
8月14日(日)	納涼会
9月11日(日)	町民体育大会
10月16日(土) 10月27日(木)	スポーツフェスタ 秋の旅
11月5日(土) 11月6日(日) 11月24日(木) 11月27日(日)	町民文化祭 1日目 町民文化祭 2日目 ナイスハート運動会 法人フェスティバル
12月4日(日) 12月20日(火) 12月23日(金) 12月27日(日)	農業祭 南小コンサート クリスマス会 年末行事・餅つき大会
1月9日(月)	新年会
3月6日(月)	南小学校コンサート(療育園にて)

この年初めて町民文化祭に2日間続けて出店。好評を博しました。

12月には長らく休止していた餅つきを復活しました。ただ、鏡餅用のもちをつくった形で、食事には使用していません。

8. 医務.

定期薬の状況

定期薬の種別	男	女	合計
内科薬のみ服用	5	6	11
精神科薬のみ服用	16	12	28
内科精神科薬服用	6	5	11
服薬なし	0	1	1
合計	27	23	51

園内受診者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
永山Dr受診者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
森脇Dr受診者数	37	37	37	37	37	37	37	38	38	38	38	38	449
オーラルケア回数	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	45

定期通院者

氏名	通院の状況	科名	病名	備考
Y . A	1回/2ヶ月	内科	胃潰瘍 C肝キャリア	
"	随時	整形外科	変形性膝関節痛・変形性頸部痛	
"	1回/3ヶ月	眼科	老人性白内障	
A . Y	1回/年	婦人科	卵巣腫瘍	
M . I	1回/2ヶ月	眼科	白内障・逆まつげ	
"	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/週	石臼鍼灸	"	歩行訓練
M . I	1回/2ヶ月	内科	ナッシュ肝	しゃ血
A . U	1回/3ヶ月	脳神経外科	難治性てんかん	迷走神経刺激装置点検
"	1回/3ヶ月	眼科	白内障・緑内障	
H . O	1回/3ヶ月	整形外科	脳挫傷・視力障害による歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	1回/1~2か月	整形外科	左大腿頸部骨折	
"	4回/週	石臼鍼灸	歩行訓練	
Y . K	1回/2ヶ月	内科	間質性肺炎	
J . K	1回/2~3ヶ月	外科	乳がん術後	
Y . K	1回/6ヶ月	歯科口腔外科	舌白板症	
Y . K	随時	武井皮膚科	アトピー性皮膚炎	
K . K	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/1週間	石臼鍼灸	"	歩行訓練
N . S	1回/1ヶ月	内科	B型肝炎・高尿酸血症・便秘・胆石	
"	1回/2ヶ月	眼科	逆まつ毛・角膜の傷	
S . N	1回/1ヶ月	泌尿器科	排尿障害	導尿
K . N	1回/2ヶ月	内科	大動脈弁閉鎖不全	
"	随時	神経内科	小脳萎縮	
M . H	1回/2ヶ月	脳神経外科	ラクナ脳梗塞・左脳被殻出血	
"	"	泌尿器科	排尿障害・慢性膀胱炎	
Y . H	1回/2ヶ月	眼科	両眼角膜混濁	
S . F	1回/1ヶ月	精神科	内服調整	
Y . F	随時	眼科	右網膜全剥離 左弱視・アレルギー	

氏名	通院の状況	科名	病名	備考
H . M	1回 / 2ヶ月	眼科	慢性結膜炎	
"	1回 / 2ヶ月	内科	脂質異常症・糖尿病	
K . Y	随時	整形	下肢痛・心因性筋硬直	
"	1回 / 1ヶ月	内科	心不全	ペースメーカー点検
"	1回 / 1ヶ月	泌尿器科	心因性排尿障害	バルン留置

通院状況

科名	受診者数	通院日数
内科（定期含）	31	112
外科（定期含）	17	35
整形外科	13	49
脳外科	4	12
精神科	1	6
歯科	3	4
眼科	11	29
耳鼻科	24	43
皮膚科	16	20
神経内科	0	0
婦人科	1	1
泌尿器科	6	40

入院状況

氏名	科名	入院期間	内容
M . S	内科	4月22日～4月28日	感染性胃腸炎
T . N	整形	4月23日～6月1日	右大腿骨頸部骨折（ピン固定）
H . M	内科	7月11日～7月15日	発熱精査/アレルギー性炎症
K . S	外科	9月13日～9月23日	胆嚢摘出術/内視鏡
M . H	内科	9月30日～10月17日	左脳被殻出血
M . H	リハビリ科	10月17日～11月17日	リハビリ
T . N	内科	11月26日～12月14日	肺炎
S . F	精神科	12月1日～	服薬調整
K . K	外科	3月7日～	急性出血性直腸潰瘍（ホチキス）

緊急時間外(休日・救急)通院

月日	氏名	科名	症状（病名）
9月30日	M . H	りんくう救命救急センター	左脳被殻出血
2月20日	K . Y	岸和田特洲会病院	バルン抜去/尿道出血
2月25日	K . Y	"	尿道出血
3月7日	K . Y	永山病院	急性出血性直腸潰瘍
3月26日	M . O	"	脱水/食欲不振

検査

検査項目	受診者数	受診日数	検査項目	受診者数	受診日数
検血	50	139	C T	6	8
胸部レントゲン	12	14	胃ファイバー	2	2
その他レントゲン	15	31	大腸ファイバー	1	1
脳波	0	0	M R I	0	0
エコー	14	18	検便	2	2
心電図	6	7			

各種検査

検査名	実施日	人数	実施場所
胸部レントゲン（65歳以上）/他	4月14日～11月8日	12	永山病院
婦人科検診	8月5日	1	住民健診

毎月の通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	15	9	5	12	4	5	8	10	15	6	8	15	112
外科	2	9	2	0	0	2	3	7	4	2	1	3	35
整形外科	4	2	4	4	4	4	7	3	3	5	2	7	49
脳外科	1	1	0	1	2	1	0	3	1	0	0	2	12
精神科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6
歯科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	4
眼科	4	4	0	0	4	3	2	2	3	2	2	3	29
皮膚科	2	3	0	1	5	4	0	1	1	3	0	0	20
耳鼻科	2	1	0	1	1	0	0	9	2	13	10	4	43
泌尿器（婦人科）	3	2	3	4	5	5	2	4	1	4	5	3	41
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エコー	1	1	0	3	1	4	1	2	2	1	1	1	18
胸部レントゲン	5	1	0	1	0	3	1	2	0	0	0	1	14
その他レントゲン	1	1	3	2	2	3	5	3	2	4	0	5	31
心電図	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	7
検便	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
胃透視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
大腸カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C T	1	0	0	2	0	1	0	2	1	0	1	0	8
脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検血	5	46	3	3	2	8	40	16	2	6	4	4	139
	47	82	21	36	32	45	70	67	39	46	36	52	573

まとめ

年間外来通院（定期通院 検査通院含む）573日（延べ日数）となる。

ワクチンの予防接種は、高齢者と有病者であったがインフルエンザの発症はみられなかった。

感染性胃腸炎も二次感染なく終息する。入院では、原因不明の発熱が続きアレルギー性炎症と診断され静養困難にて早々退院になる。他、大腿頸部骨折者1名は、人口骨頭を使わずピン固定にてADLの制限が解除される。1名は、発見の遅れもあり温存療法にて歩行制限となった。脳出血の方は、嚥下機能や右半身麻痺の後遺症は残るも園の生活に戻られた。又、ご高齢ではありましたが感染による肺血症や合併症により様態が急変し永眠される。

全体では、身体機能の低下が進んでいるが特に胃腸機能低下が目立つ。食事量や活動量のバランスが大切である。

個別通院状況(男性ご利用者)

	内科	外科	整形	脳神経外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿器科	神経内科	胸部X P	他のX P	エコー	心電図	MRI CT	胃・腸カメラ X P	検血	脳波	検便	計
K . I	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3	0	0	10
T . I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
H . O	2	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	20
M . O	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	10
S . O	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
K . K	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
Y . K	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
K . S	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	0	0	0	3	0	0	10
N . S	6	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	13
M . S	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	8
N . T	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	4
K . T	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
S . T	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	7
S . N	1	1	0	0	0	0	0	1	1	8	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	15
T . N	1	2	2	1	0	0	0	0	0	7	0	2	3	1	1	1	0	2	0	0	23
K . N	6	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	14
M . N	1	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	2	0	0	0	3	0	0	19
K . H	5	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	6	0	0	19
Y . H	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
A . F	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	8
M . F	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	9
T . M	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
N . M	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
K . M	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	7
K . M	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
S . Y	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
K . Y	15	2	3	0	0	0	0	3	0	15	0	1	1	0	2	0	0	3	0	0	45
計	53	27	19	2	0	3	9	17	14	30	0	9	13	10	4	3	1	68	0	2	284

個別通院状況(女性ご利用者)

	内科	外科	整形	脳神経外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿器科	神経内科	胸部X P	他のX P	エコー	心電図	MRI CT	胃・腸カメラ X P	検血	脳波	検便	計
Y.A	8	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	7	0	0	25
A.I	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	8
M.I	2	0	4	0	0	0	5	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	18
M.I	3	0	3	0	0	0	3	1	1	2	0	0	1	2	0	0	0	3	0	0	19
A.U	0	0	0	4	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	11
M.O	5	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	11
Y.K	9	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	0	0	25
Y.K	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4
J.K	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	5
K.K	0	2	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	10
N.S	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
K.S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
F.T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
H.T	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
E.N	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	7
M.H	0	0	0	6	0	0	0	1	0	6	0	1	1	1	1	2	0	3	0	0	22
S.F	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
M.F	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
K.F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Y.F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
E.H	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	7
F.M	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
H.M	5	2	7	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	25
H.M	16	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	1	2	0	8	0	0	39
K.Y	4	2	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	2	0	0	1	3	0	0	20
計	59	8	30	10	6	1	20	26	6	11	0	5	18	8	3	5	2	71	0	0	289

9. 給食業務

保健給食会議

利用者（男女各複数名）と支援員より当日勤務都合で出席できる者男女各1名、園長、看護師、調理師（ナニワフード㈱）、栄養士（ナニワフード㈱及び当園）、ナニワフード㈱管理担当者によって月に1度実施。

今年度の利用者給食委員は男女各複数名が給食会議ごとに各1~2名の出席となりました。

この会議では主に利用者の食事への希望を知らせていただき、利用者の食事と健康面への配慮を話し合いました（ここで出た献立への希望は、可能なものから次月献立に取り入れています）。

それ以外にも給食にかかわることはここで話し合います。

給食委員（利用者）の主な仕事は保健給食会議で各フロア利用者からの要望・提案等を伝えることです。

嗜好調査

年2回（夏期と冬期）料理写真や料理本等を使用し、利用者さんに食事アンケートを実施。

ご自身で回答できない方は、職員が普段の状況から好み等を知らせてくれました。その結果、提供可能なものは次月以降の献立に取り入れました。

パンの選択

自ら選択・決定することが目的です。

菓子パン・調理パン ほぼ月2回。

給食委員が写真入りパンメニューを用いて、各利用者がパンを選択。

季節の行事食

季節の行事などにあわせて提供している食事。

可能な範囲で一般家庭の季節の行事と同様にしたいと考え実施。

調理従事者は日々、衛生面に細心の注意を払いながら、味付け・食べやすさ・見た目に注意を払って調理しています。

食事に配慮の必要な利用者の状況

(ア)病名、人数と食事における注意点

大動脈閉鎖不全	1名	エネルギー制限、タンパク質不足に注意
肝炎ウィルス感染者	5名	ミネラル類不足注意、過剰エネルギー摂取による脂肪肝予防、鉄摂取量過剰に注意、タンパク質不足に注意
糖尿病・肥満	16名	エネルギー制限
横隔膜ヘルニア	2名	消化吸収しやすい物、刻みトロミ食
視覚障害一級	1名	自助食器使用（自助食器は他にも使用している方あり）
痩せ・痩せ予防	4名	エネルギー調整

上記含め摂取量を定めたほうが良いと考えられる方々は、ご飯を盛り切りで提供しています。

毎月のバイタルチェックで、上記以外、全員の見直しをしています。

(イ)上記以外の個人対応

補助食個人購入 4名

他に急な体調の変化等に合わせた食事を提供しています。

栄養ケアマネジメント

前年度より開始、以前より行ってきたことをはっきりと書類にしたともいえます。

利用者さん一人ごとにご本人・ご家族の健康に対するご希望をうかがい、ケアの目標を決め達成するように努めています。

備蓄食品の管理

災害時の備蓄用食品を保管し、消費期限に合わせて通常献立に組み込み、行事での使用依頼など行い入れ替え、非常時に備えています。

10. クラブ活動

茶道クラブ	講師 : 平川 輝子氏(裏千家) 岡 保美氏 クラブ員 : 12名 活動日時 : 毎月第2火曜日 午後1:30~ 内容 : 27年度も町の文化祭に出店し、地域の方への活動のアピールも行いました。
ヨーガ	講師 : 杉山 和孝氏 クラブ員 : 希望者 活動日時 : 毎月第3火曜日 午前10:00~ 内容 : 講師の動きに合わせて、ストレッチを中心に行う。体を自らほぐすという事が難しいとされるご利用者も長年の経験で上手にできるようになっています。
歌体操	講師 : 西川 美代子氏、竹中 葉子氏 クラブ員 : 希望者 活動日 : 毎月第2水曜日 午前10:15~ 内容 : 講師の方の歌に合わせて体を動かす、手指を動かす、そしてリズムに合わせて体を動かすなど、楽しみながら健康的に動く活動で、ご利用者も楽しんで参加することができています。今年度は講師の先生の体調がすぐれないため、休止状態となっています。
色ワーク	講師 : 成田 イクコ氏、黒岩 徳子氏 クラブ員 : 10名他希望者 活動日 : 毎月第1水曜日 午後1:30~ 内容 : ご利用者に自由に絵を描いていただき、その絵の様子や色遣いなどから、現在の心的な状態についての助言をいただくなどの活動を行っています。
ハッピーブレイン体操	講師 : 総谷 秀美氏 クラブ員 : 希望者 活動日 : 毎月第2木曜日 内容 : 軽快な音楽とともに呼吸法やストレッチなどに取り組みました。活動開始3年目ということで、ご利用者も慣れてきました。今年度もこれまで通り同様ご利用者とのスキンシップを積極的に取り入れていただきました。

11. 実習受け入れ状況

介護体験実習

大阪体育大学	8/2 ~ 8/10	男性 1 名
	8/12 ~ 8/19	男性 1 名
	8/22 ~ 8/29	男性 1 名

施設実習（幼児教育・介護実習）

常磐会短期大学	6/6 ~ 6/18	女性 2 名
	9/5 ~ 9/17	女性 2 名
	11/7 ~ 11/19	女性 1 名

南海福祉専門学校	9/26 ~ 10/6	男性 2 名 女性 2 名
	11/30 ~ 12/20	男性 1 名 女性 2 名

年に1回贈呈され、頂いた助成金で地域交流に必要な品物と交換しています。
今年度も地域の皆様の協力で88,800円（園芸用品・文具等購入予定）頂きました。

外部活動

今年度より、地域の方々に熊取療育園を知ってもらう機会や、交流の機会を増やすため各種イベントに参加、開催し、地域との交流を図りました。

- | | | |
|---------|-------------|--|
| 8月14日 | 納涼会 | 地域住民参加型を目指し、試験的に大規模開催を行う。
次年度より地域住民の参加を予定 |
| 9月11日 | 町民運動会 | 利用者6名 職員2名で参加 |
| 11月5日6日 | 町民文化祭 | （ふれあいセンター・公民館）茶道クラブでお茶席、野菜やフランクフルトの模擬店出店
煉瓦館で芸術クラブによる作品展示 |
| 11月27日 | 地域交流フェスティバル | |
| 12月4日 | 農業祭 | （熊取町立中央小学校）野菜を出店 |

13. 事故

車両事故

日時	内容	対応	経過
2/18	王将熊取店に昼食外出に出かけ駐車する際に天井の車止め(高さ制限)に気付かず、ぶつけてしまう。	"ご利用者には怪我などはなかった。	

投薬に関して

日時	内容	対応	経過
1/18	ご利用者に与薬するも嫌がり、口から吐き出してしまいが、再度飲んでいただくよう、説得。	飲んでいただけたつもりであったが、床に薬が落ちていたため、吐き出してしまったようである。	
1/18	朝食後の清掃時に薬が落ちているのを発見。誰の薬かを確認。	誰の薬かは判明。	ダブルチェックで与薬する決まりがあるにもかかわらず、守れていなかったことが原因であり、再度マニュアルをチェック。
3/31	昼食後の清掃時に薬が落ちているのを発見。誰の薬かを確認。	薬が誰のものかはわからなかった。	

不在確認・捜索など

日時	内容	対応	経過
5/9	知らない間に園より出かけN歯科周辺を歩いていた	N歯科より連絡を頂き職員が迎えに行く。その後ご本人と話し、帰園。	
7/4	"夕食時にご本人がいない事に気付く。		
9/21	9時頃近隣より園外を歩いている方がいると入電。	職員2名がすぐに捜索、9時20分には自分で園に帰ってきた。	帰園後すぐに身体等を確認。怪我などが無いことが確認できた。
10/8	スポーツフェスタ終了し帰ろうとした時の点呼時に不在を確認。	男性スタッフが残り周辺捜索するも見つからず、交番にて警察に相談、捜索願を出しに行こうとした時に警察より発見したとの連絡が入る。	本人あってから身体等のチェックを行うも怪我などは見受けられなかった。

怪我など

日時	内容	対応	備考
4/7	転倒しているところを発見。	移動時の見守りの徹底	
5/2	車内でフロントに乗り出してきて、エアコンの排気部を破損	ご本人に説明して乗り出さないように声掛け。	
8/8	ご本人が不穏状態で、いろいろと話をしても納得できず、他害行為と発展。ご本人に注意し、被害を受けた方の状況確認。	他害を受けた方は怪我など大事には至らず、すぐに落ち着く。不穏になった本人もしばらく面談をすることで落ち着く。	

日時	内容	対応	備考
8/27	階段を降りる際、4段ほど踏み外し倒れているところを発見。	動かないようにご本人に指示し、頭を冷やす。	永山病院に通院する子打撲のみで異常なしとの判断。
10/13	11:40 足に擦り傷。すぐに手当て。その後昼食時にお箸が持てないことに気付く。右肩を本人はかばっている状態。	すぐに佐野記念病院に通院。	骨がずれているため、コルセットにて固定し、ずれを防ぐ処置となる。
10/22	食堂の手洗い場にて混雑していたところにご利用者が押されて倒れ、その上にさらにもう一人がかぶさるように倒れこむ。	一番下になってしまった方をゆっくりとお越し身体の確認。青あざなどはないものの痛みの訴えあり。	その後ご本人より痛みの訴えもあったことから様子観察をしばらく行った。
12/27	ちゃんこ鍋を食べている際に横に座ったご利用者の手がちゃんこの容器に手が当たり、こぼす。	すぐに佐野記念病院に通院。取り柄にて現状確認。両太ももが赤くなっており、氷にて冷却処置。	左側アズノール、右側アズノール及びガーゼ保護の処置を実施。
1/30	夕食後の歯磨き支援中に、ご利用者がスタッフルームの冷蔵庫の中のものを物色。	缶コーヒーを飲んでしまっていた様子。	
2/20	介護入浴時に湯船に血が混ざっていることに気付く。陰部を確認すると尿管が抜けていた。	"岸和田徳洲会Hpへ通院。	

14. ヒヤリハット報告

事故や物損などに至らなかったが、職員が「ヒヤッ」としたり、「ハッ」と気付いたことを記録として残すことにより大きな事故へと至らぬよう会議などで全体化するよう努めています。

今年度は報告書提出がありませんでした。軽微な事でも事故報告で上げるように指示しているためと思われます。

15. 研修等

研修・定例の会議など

主催もしくは後援等	研修内容	出席者	日 時
大阪知的障がい者福祉協会	役員会	T . K	6/30 (総会含) 7/15、 8/19、 9/16 11/25、 12/16、 1/20、 2/17、 3/17
	地域支援部会		7/29、 10/14、 1/10、 1/16、 1/21
	消防法研修		9/29
	スポーツフェスタ		10/7、 8、 16
大阪知的障がい者福祉協会 障がい者支援施設部会	施設長会		4/28、 7/11、 9/15、 11/16、 12/6 2/10
	幹事会		5/26、 7/26、 8/30、 9/16、 11/7 2/3、 3/21
日本知的障がい者福祉協会	近畿地区施設長(等)会議		6/3、 8/22、 12/7、 8、 12/19 2/16、 17
	施設長等会議		6/23、 24
大阪府社会福祉協議会	総会 成人施設部会		6/8、 1/11 5/13、 7/20、 9/21、 12/13、 1/18 3/10
	CSW・地域貢献について		9/6、 10/3、 10/18、 11/11、 12 11/29、 2/24
経営協	総会・研修会 法人役員研修		4/26 7/5、 7/12
大阪障がいフォーラム	総会 泉州フォーラム		4/9 5/24、 7/26、 12/13、 1/31、 2/7
大阪府知的障害児者サポート協会	社員総会		6/28
防災協会	総会		6/1
大阪府など	指導監査説明会 集団指導	6/17 8/17、 11/16	
人権研修	人権研修 (1 市 2 町) 人権研修 (熊取町) 人権研修 (大阪府)	5/20 5/25 9/26	
TKC	経営セミナー	12/3	
	研修(経営)	K . T K . I	2/13
アマノ	FK 研修	K . I	7/14
大阪府社協	法人事務実務講座		10/13、 20、 27、 11/10、 17、 24 12/1
経営協	労働事務		2/22
大阪府委託研修	集団指導者養成	D . M	6/27
	虐待防止、権利擁護研修		11/24、
大阪知的障がい者福祉協会 障がい者支援施設部会	幹事会	M . T	5/26、 7/26、 8/30、 9/16、 11/7 2/3、 3/21
		M . O	5/26、 7/26、 8/30、 9/16、 11/22 2/3、 3/21
大阪知的障がい者福祉協会 スポーツフェスタ	支援スタッフ	K . O Y . U	10/7、 8
大阪知的障がい者福祉協会 主催研修	虐待防止研修	K . S N . T	11/7

主催もしくは後援等	研修内容	出席者	日時
大阪知的障がい者福祉協会 主催研修	虐待防止研修	K . S N . T	11/7
大阪知的障がい者福祉協会 主催研修	中堅研修	T . K D . M M . O	1/23
大阪知的障がい者福祉協会 支援スタッフ委員会	支援スタッフ・編集委員	T . K D . M	12/9、19
大阪府社会福祉協議会	感染症予防など	K . H	11/8
中央労働災害防止協会	ストレスマネジメント		3/21
大阪大学臨床研究 日本(大阪)栄養士会 泉南地区給食研究会		S . F	4/11、5/9、9/12、3/13 10/8、1/14 8/23、
府社協、泉佐野保健所 全国腎臓病協議会			6/21、7/3、8/21、9/11 3/19

熊取町における定例会議など（出席者は基本施設長）

主催など	会議名	日時
熊取町	施策推進委員会	5/16、9/14、11/21、2/13
	自立支援協議会	5/16、2/13
	生活支援・介護予防協議体	5/25、8/24、11/24、3/1
熊取町社会福祉協議会	団体連絡会	4/25、10/20
	地域貢献委員会	4/25、8/1、10/20、2/14、3/27
	地域貢献委員会小委員会等	6/10、7/14、10/5、12/28
熊取町立南小学校	学校協議会	7/4、12/20、3/16

16. 避難訓練

日付	集合場所	内容
4/28(木)	玄関	フロアからの避難
5/31(火)	園庭	フロアからの避難
6/27(月)	玄関	フロアからの避難
7/27(金)	園庭	フロアからの避難
8/26(金)	玄関	フロアからの避難
9/4(金)	3F 娯楽室	地震・津波想定訓練
10/28(金)	園庭	フロアからの避難
11/25(金)	玄関	フロアからの避難
1/27(金)	玄関	フロアからの避難
2/23(木)	玄関	フロアからの避難
3/31(金)	玄関	フロアからの避難

1 防災計画（震災 72H×69 名対応）策定済み。

2 10月6日、第40回屋内消火栓操法競技大会に3人1組のチームで出場。

競う項目は、規律、節度、士気、チームワーク、安全性、速さ等で、2回目の出場にも関わらず、Cブロックで準優勝しました。

共同生活援助事業

1. 支援体制（事業全体）

事業形態

- ・全体では3事業5ホーム体制で実施。
- ・介護サービス包括型グループホーム
 - 2事業3ホーム みくまホーム事業（みくまホーム、ホームサンフェロー）
牧野ホーム事業（牧野ホーム）
- ・外部サービス利用型グループホーム
 - 1事業2ホーム 若葉ホーム事業（若葉ホーム、第2若葉ホーム）
受託居宅として身体介護の部分を居宅介護事業「わこう」へ委託

連携（バックアップ）事業所

熊取療育園において、夜間および休日の連絡体制を整備し、緊急時における支援を実施。

スタッフ配置

管理者・サービス管理責任者（兼任） 1名配置

生活支援員 常勤3名配置（内1名は世話人と兼務）

世話人（事業全体）主たる世話人5名（各ホーム1名ずつ配置） 世話人計22名配

勤務体制 ・3ホーム（若葉ホーム、第2若葉ホーム、みくまホーム）は24時間体制をおこない、入居者が1名でもホーム滞在されるときはスタッフ配置を実施。

・ホームサンフェローは入居者様の状況から24時間体制でなくても対応ができるため夜間配置はせずに緊急携帯対応として実施。

・牧野ホームについては、同居型ホームとしてすぐそばに世話人が滞在し緊急時対応ができるようにおこない、緊急用携帯を夜間支援の対応として常時設置しホームスタッフとの連絡が常にとれるように配置。

・世話人に関しては、1ホームのみの勤務ではなく他のホームにも配置できるようにして、多くの世話人が多くの利用者と関われるように配置。

スタッフの動向

氏名	日付	職種	摘要
Y.M	平成28年7月31日	世話人	退職
M.M	平成28年12月1日	世話人	採用
M.M	平成29年3月31日	世話人	退職
F.U	平成29年3月31日	生活支援員	定年退職

2. 利用者支援

グループホーム利用者ミーティング

4月の第1回目に年間計画をホーム事業利用者全体で話し合いをおこない、その計画に従って実施。

実施日	実施内容	実施場所	参加者	参加スタッフ
4月17日	茶話会	つばさ	20名	職員4名
5月22日	災害体験	和歌山市消防局防災学習センター ポルトヨーロッパ	9名 (第2若葉H5名、ホームサンフェロー4名)	職員4名
6月26日	災害体験	和歌山市消防局防災学習センター ポルトヨーロッパ	11名 (若葉H4名、みくまH4名、牧野H3名)	職員4名
7月17日	バス旅行	琵琶湖方面(草津市立水生植物公園みずの森他)	20名	職員4名 世話人4名
8月7日	選択外出	大江戸温泉物語(箕面市)	11名	職員3名
9月4日	避難訓練	若葉H	4名	職員2名 世話人1名
9月4日	避難訓練	第2若葉ホーム	5名	職員2名 世話人1名
9月4日	避難訓練	みくまホーム	5名	職員2名 世話人1名
9月4日	避難訓練	ホームサンフェロー	4名	職員2名 世話人1名
9月4日	避難訓練	牧野ホーム	2名	職員2名 世話人2名
10月8日	スポーツフェスタ(選抜参加)	ヤンマースタジアム長居	8名	職員2名
10月22日	選択外出	ひらかたパーク(枚方市)	4名	職員2名
11月20日	選択外出	インスタントラーメン発明記念館	8名	職員2名
12月18日	クリスマス会	つばさ	24名	職員4名 世話人5人 ボランティア12名
1月29日	他事業所との連携行事	阪南ボウル(泉佐野市)	4名 移動支援事業所を利用して18名	職員2名
1月21日	集まれグループホーム	ガーデンシティ大阪梅田(大阪市)	4名	職員2名 熊取療育園1名
3月19日	他事業所との連携行事	エブノ泉の森ホール(泉佐野市)	7名 移動支援事業所を利用して15名	職員2名

グループホーム利用者ミーティングの参加・不参加についてはご本人の判断に委ねています。

生活支援

利用者様の高齢化、医療的ケアが必要な方が増えたことに伴い通院の付添や介助等の健康管理面での業務を実施。また個別のニーズに答える支援としては、買い物同行や自室の整理、余暇支援の外出付添、相談員との計画相談の調整、ガイドヘルパー事業所・

ケアマネージャーとの調整、熊取町の参加型健康増進の取り組みなど実施しました。地域社会でのつながりとして自治会活動に参加。年 2 回実施される自治会主催のクリーン作戦で清掃活動に参加しました。

利用者の平均年齢（H29 年 3 月末時点）

平均年齢 52.5 歳（最年少 19 歳 最高齢 75 歳）

3. 会議・研修

主たる世話人ミーティング

- ・各ホームの主たる世話人と副理事長、管理者（サビ管）生活支援員 3 名、熊取療育園看護師、熊取療育園管理栄養士出席で会議を毎月第 2 金曜日に定例で実施。
- ・会議内容は、全体での報告のほか、各ホームでの栄養面や健康面での相談、利用者支援における論議など、その月々によって議題を設定して実施。

また、その会議の報告を各ホームの世話人に伝達することを徹底しました。

世話人ミーティング

- ・ホームごとに生活支援主任、生活支援員、主たる世話人、該当ホームに勤務している世話人で概ね 2 ヶ月に 1 回のペースで実施（必要時には臨時のミーティングも開催）。
- ・会議内容は、ケース会議や支援についての相談、研修の報告など。

研修

研修参加実績

日時	研修内容	題目	主催	参加者
5/13	所内全体研修			世話人を含め全員
7/11	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
7/21 ~ 22	第 28 回全国グループホーム等研修		日本知的障害福祉協会	M.M
9/23	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
10/14	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
10/20	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
11/11	所内全体研修			世話人を含め全員
1/19	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
1/24	第 12 回 G H 等職員研修会		近畿地区知的障害者施設協会	A.T、F.U 主たる世話人 3 名
1/26	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T
3/13	地域支援部会		大阪知的障害者福祉協会	A.T

4. 各ホーム事業の状況

若葉ホーム事業（外部サービス利用型グループホーム）

若葉ホーム（定員 5 名） 男性型ホーム

(ア)利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	判定	日中活動など
A . S	男	57	4	療育手帳 A	ワークいっぱい（就 B）
K . S	男	58	4	療育手帳 A 身体障害手帳 5 級	ワークいっぱい（就 B）
M . N	男	63	5	療育手帳 A 精神健康保健手帳 2 級	ワークいっぱい（就 B）
N . K	男	57	4	療育手帳 A	つばさ（生活介護）
K . F	男	40	4	療育手帳 A 身体障害者手帳 3 級	恵誠の里（生活介護）

- ・移動支援事業利用者 4 名
- ・日常生活支援事業利用者 1 名
- ・成年後見制度利用者 1 名

(イ)支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1 名 世話人（夜勤勤務含む） 8 名

(ウ)支援における特記事項

N . K：3 月にインフルエンザ A 型にかかり、肺炎との併発の疑いがあり永山病院に入院されました。入院後、肺炎ではないことが確認され、インフルエンザ感染が落ち着かれてから退院されました（入院期間 12 日間）。

A . S：毎月 1 回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約 6～8 km を名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

K . F：12 月 5 日付で入居されました。9 月から食事体験や宿泊体験をされ体験を通してホームの様子を知っていただいたからの入居となりました。

3 月 6 日に腸閉塞のため青松記念病院に入院されました（入院期間 30 日間）。腸閉塞はもともと持病として持たれていたため、普段の食事配慮・便通確認をおこなっていました。

(エ)その他

- ・業務軽減のため、いずみ市民生協を 1 回 / 週で利用。
- ・若葉自治会の行事（清掃）にスタッフが参加（6 月、11 月の 2 回）
- ・A E D を設置継続。

第2若葉ホーム（定員6名） 女性型ホーム

(ア)利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	判定	日中活動など
K.M	女	66	5	療育手帳A	つばさ（生活介護）
M.I	女	49	4	療育手帳A	つばさ（生活介護）
K.O	女	51	5	療育手帳A	熊取療育園（生活介護）
H.F	女	73	3	療育手帳B1	介護デイサービス
H.Y	女	75	4	療育手帳A	介護デイサービス

- ・移動支援事業利用者 5名
- ・成年後見制度利用者 2名

(イ)支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1名 世話人（夜勤勤務含む）9名

(ウ)支援における特記事項

M.I：毎月1回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約6～8kmを名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

H.Y：腰椎の神経痛が悪化し、痛みが継続する状態となったため永山病院に入院して腰椎部にブロック注射をおこない、痛みの軽減をはかりました（入院期間2日）。熊取町のまちぐるみ支援制度の「避難行動要支援者」として登録をさせていただきました。

(エ)その他

- ・業務軽減のため、いずみ市民生協を1回/週で利用。
- ・若葉自治会の行事（清掃）にスタッフが参加（6月、11月の2回）。

みくまホーム事業（介護サービス包括型グループホーム）

みくまホーム（定員5名） 男女混合型ホーム

(ア)利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	判定	生活支援員配置基準	日中活動など
J.K	男	20	3	療育手帳A	9：1	ワークいっぱい（就B）
K.N	男	64	5	療育手帳A 身体障害手帳3級	4：1	つばさ（生活介護）
K.A	女	68	3	療育手帳A	9：1	つばさ（生活介護）
T.H	女	68	3	療育手帳A	9：1	つばさ（生活介護）
M.N	男	41	3	療育手帳A	9：1	ささゆり作業所（就B）

- ・移動支援事業利用者 5名
- ・日常生活支援事業利用者 1名

(イ)支援体制

世話人体制（4：1） 主たる世話人 1名 世話人（夜勤勤務含む）6名
生活支援員（5.6H/1日）

(ウ)支援における特記事項

T . H : 3 月 17 日に糖尿病悪化により永山病院に入院。血糖の状態の確認・コントロール等をおこない服用薬で経過継続になりました(入院期間 27 日間)

K . N : 4 月 7 日に胸膜炎にて永山病院に入院。治療の結果経過良好となり退院となる(入院期間 42 日間)

(エ)その他

- ・業務軽減のため、熊取町内にあるフードショップなかがわを 2 回 / 週で利用。(利用させていただいたトゥルーグレイスが 7 月末で閉店されたため、8 月より利用開始)
- ・美熊台自治会の行事(清掃)にスタッフが参加。
- ・A E D をホームに設置継続。

ホームサンフェロー(定員 6 名) 男女混合型ホーム

(ア)利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	生活支援員配置基準	日中活動など
A . N	男	47	2	療育手帳 B 1	なし	ささゆり作業所(就 B)
T . O	男	54	3	療育手帳 A	9 : 1	就労
T . N	男	53	3	療育手帳 A	9 : 1	ワークいっぽ(就 B)
R . M	男	50	3	精神障害保険健康福祉手帳 2 級	9 : 1	ワークいっぽ(就 B)
H . K	女	43	1	療育手帳 B 1	なし	就労
H . T	女	37	4	療育手帳 B 1	6 : 1	熊取療育園(生活介護) 就労(半日就労)

- ・移動支援事業利用者 4 名
- ・日常生活支援事業利用者 1 名

(イ)支援体制

世話人体制(4 : 1) 主たる世話人 1 名 世話人 4 名

生活支援員(4.0H/1 日)

(ウ)支援における特記事項

T . N : 毎月 1 回熊取町の健康取り組みとしておこなわれる「健康くまとり探検隊」に参加し、熊取町内約 6 ~ 8 km を名所などの説明を聞きながら歩いて健康増進を図りました。

A . N : 11 月 23 日付で入居されました。10 月に食事体験や宿泊体験をされ体験を通してホームの様子を知っていただいたからの入居となりました。

R . M : 9 月 21 日付で入居されました。9 月に宿泊体験をされ体験を通してホームの様子を知っていただいたからの入居となりました。

H . T : 8 月 1 日付で入居されました。5 月から食事体験や宿泊体験をされ体験を通してホームの様子を知っていただいたからの入居となりました。

K . I : より一人暮らしに近い生活を送りたいとホームサンフェロー以外のグループホームでの生活を希望されました。サービス等利用計画の相談者と他事業所のグループホーム体験を通して、生活の場所・日中の活動場所を決められ7月末を持って退去されました。

(工)その他

- ・業務軽減のため、いずみ市民生協を1回/週で利用。

牧野ホーム事業

牧野ホーム(定員5名)

介護サービス包括型グループホーム

(ア)利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	障がい判定	生活支援員配置基準	日中活動など
A . A	男	27	2	療育手帳B1	なし	就労
N . T	男	70	4	療育手帳A	9 : 1	介護デイサービス
H . S	女	70	3	療育手帳A	9 : 1	介護デイサービス
M . U	女	19	2	療育手帳B2	なし	スウェル(就B)

- ・移動支援事業利用者 2名
- ・日常生活支援事業利用者 1名
- ・成年後見制度利用者 1名

(イ)支援体制

世話人体制(5 : 1) 主たる世話人 1名 世話人(宿直体制) 1名
生活支援員(1.8H/1日)

(ウ)支援における特記事項

M . U : 2月22日付で入居されました。1月から食事体験や宿泊体験をされ体験を通してホームの様子を知っていただいたからの入居となりました。

5 . ヒヤリハット・事故報告

利用者名	日時	内容	対応
K . M	5/29 朝食時	食事物の喉詰め	見守り・ゆっくりと食べるように声かけをしていた中でおこる。背中を叩いて吐き出してもらおう。食べた内容との確認をおこない、喉通りを確認。
K . S	6/3 18 : 30	誤薬(服用の朝食後と夕食後の日時間違い)	服用内容を確認。日時間違いをしていたが同じ処方内容のため服用をおこなう。
M . N	6/15 8 : 00	誤薬(2回分一度に服用してしまう)	処方していただいた病院へ連絡して指示を仰ぐ。
M . N	7/2 19 : 00	服用忘れ(服用すべき時間に薬を服用してもらおうのを忘れる)	服用確認ができていなかったのので、服用すべき時に服用ができず。服用確認を徹底するようにおこなう。
K . A	8/25	誤薬(服用薬が落ちていたので拾いテーブルの上に一時的に置いていたら、「自分の薬」服用される)	服用された方の薬であることは確認できたが、いつ落ちた薬であるかの確認が取れず。Nsに指示を仰ぎ体調の経過を見守った。

利用者名	日時	内容	対応
K . N	8/27 12 : 30	誤薬（服用時間（昼食後と夕食後）の間違い）	処方箋を確認。同じ内容のものであったので、服用していただく。
K . S	9/16 11 : 20	服用忘れ（一包化された薬袋に服用忘れの薬あり）	残薬の内容を確認。服用から時間が経ってからの確認となってしまうので、経過観察をする。
H . K	12/20 15 : 00	不審電話（GH事務所へ入居者様の呼び出しを希望。断ると電話を切られる。27年度にも同じ電話がかかる）	かかってきた電話番号から不動産会社ということがわかる。不動産投資による迷惑電話として登録されている番号であった。入居者様の名前、GH事務所の連絡先を伝えている事業所を再確認する。
みくまホーム	12/28 7 : 30	ホーム内の駐車場に公用車を駐車した際に水栓ポールに車があたり、水栓が破損する	家主へすぐに連絡し、状況確認と水が止まらない状態になったので、止水栓を止める。家主がすぐに駆けつけて応急処置をしていただく。（後に修理する）
K . S	1/2 18 : 05	回転寿司で食事後、ついていた職員が会計のために席を離れた時に、もう一皿食べられ喉に詰められる。	詰まっていたものをかき出す。また同時に救急車要請をお店の方をお願いする。救急車が到着する前に詰まっていたものを出すことができる。救急隊員と状況をやり取りして大丈夫との判断をいただき、救急搬送はおこなわず、経過確認をおこなう。
M . N	1/23 7 : 20	誤薬（他の人の薬を服用してしまう）	処方していただいている病院へ連絡して指示を仰ぐ。経過観察をおこなう。
K . O	2/1 8 : 20	誤薬（服用時間（朝食後と夕食後）の間違い）	処方箋を確認。服用内容が同じものであったので服用していただく。
K . N	2/26 18 : 30	服用薬のセットミス	服用袋に服用日を記入しているが、日付を書き間違えていたため訂正をおこなう。
M . N	2/27	日付間違いの服用（一包化された服用薬に日付を記入しているが、日付を確認せずに違う日付の薬を服用）	服用日間違いのため、服薬日時を確認して、薬袋に正しい日付を記入する

服用薬間違いが多く、確認の強化（薬をセットする際には薬準備者（日付記入と数種類の服用薬がある場合はホッチキス止めをしてセッティング）→別の職員で再チェック→ホームで職員立会いのもと世話人の再チェック→服用時の最終チェック）をおこなうようにする。世話人には研修時に服用時の確認練習も実施。一人一人の意識を高めるようにミーティングでも話をおこなっている。

喉詰めのケースが2件発生する。大事には至らなかったものの、生死を問う内容のものであり、加齢に伴う嚥下低下もみられている方もおられるので、食事時間の対応は常に気をつけて配慮していく必要がある。

6. 苦情相談

苦情申立者	連絡方法	日時	苦情内容	対応
第2若葉 の近隣の方	第2若葉 へ来られる	9/15 16:00	ゴミの 出し方について	若葉ホームで出されたゴミが 分別できていない状態であっ た。ゴミの出し方について世話 人と共に再度確認、周知をおこ なう。自治会の班長へ謝罪をお こなう。

7. 次年度に向けての課題

今年度は新しく5名の方にご入居いただき生活を始めていただきました。1名の方は違う生活を望まれ、他事業所のグループホームを選び新しく生活を始められました。自分のしたい生き方、生活の仕方に近づけるようにできた喜びも話されていたので、今後も希望される生活が送れるように支援を継続しておこないます。

消防法による、スプリンクラー・自動火災警報器設置の6項目（重度者：支援区分4以上の方がホーム内に80%以上おられる場合）対象のホームが2件（若葉・第2若葉）あり、改善に向けての対策が必要となっています。（経過措置：H30年3月末日）

． つばさ

1. 提供日数と利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	20	21	20	22	251
利用実人数	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11.5
利用延人数	192	215	260	249	243	247	230	224	219	224	220	203	2726
利用率	0.46	0.54	0.59	0.59	0.58	0.59	0.55	0.53	0.55	0.53	0.55	0.46	0.54
出席率	0.76	0.90	0.98	0.99	0.96	0.98	1.00	0.97	1.00	0.97	1.00	0.84	0.94

4月はインフルエンザのため出席率が低下

3月もインフルエンザのため出席率が低下

2. 利用者の推移

N . S 10/1 退所。入所施設へ移行。

3. 職員の推移

H . S 運転手 7/18 退職

I . T 運転手 7/19 より

S . S 運転手 8/1 より

4. 事故及びヒヤリハット

8/5 T . H 活動中、戸に指を詰める。

8/16 スタッフ 外出時、車両を擦る。

10/25 K . M 外出時、道路上の石をタイヤで踏む。

12/21 スタッフ 車両移動中、ガラス破損。

5. 研修

職場内研修

4月 統合失調症について

5月 チームアプローチと他職種連携・地域協働について

7月 障がい者の権利擁護（虐待のメカニズム）について

8月 虐待チェックリストまとめ

10月 加齢に伴う心身の機能の変化について
認知症について

12月 障害者虐待防止法の理解と対応について

1月 アンガーマネジメントについて

3月 障害の重い人の意思決定支援について

外部研修

9月 加齢に伴う心身の機能の変化

10月 障害のある人の「働く・暮らす」未来のかたち

1月 職員のためのアンガーマネジメント研修

6. 見学・実習・ボランティア

見学

8/2	泉南支援学校・・・2 家族
8/23	佐野支援学校・・・3 家族
8/24	泉南支援学校・・・1 家族
10/17	岸和田支援学校・・・1 家族
12/22	岸和田支援学校・・・1 家族

実習

6/22-6/24	泉南支援学校生徒	1 名
8/1-9/2	大阪体育大学	3 名
10/11	岸和田支援学校	2 名
11/27-12/23	南海福祉専門学校	3 名
2/22-2/28	南海福祉専門学校	1 名

ボランティア

12/20 テディベア様、クリスマス会にてオカリナ演奏
毎月 ハッピーブレイン様、体操ボランティア

7. その他

地域貢献活動について

熊取町地域貢献委員会の参加団体として、

(ア) 大人と子供のあいさつ運動として各学期初日から1週間参加

(イ) 11/23 秋のまち歩き行事に参加

販売及び作品展示について

4 月	町人権推進課より製品購入依頼
9/11	KIT フェスティバルで自主商品販売
10/21	岸和田支援学校バザーで自主商品販売
10/21 ~	熊取駅前ギャラリーにて作品展示
11/5,6	町民文化祭で自主商品販売と作品展示
11/29	わねっとで自主商品販売
12/4	農業祭で自主商品販売
3/5	熊取ロードレースで自主商品販売

消防、防災について

消防計画に則り、避難経路確認、避難誘導訓練(12/9,2/15)を実施。

熊取町と災害時における福祉避難所施設利用に関する協定を結ぶ。

その他

10/27 害虫駆除

8. 事業活動について

年度初めインフルエンザ流行により、体調を崩される方が多くなり、欠席も多く

見られた。

初夏より熱中症予防対策として、定時水分補給の声掛けを実施した。

秋から冬にかけてはイベントが多くなり、それに向けての活動を重点的に行う。どのご利用者もモチベーション高く作業に取り組まれている。

年度末近くになり、インフルエンザ流行により、体調を崩される方が多くなり、欠席も増えた。

健康増進・維持活動

月・水・金のウォーキングでは、午前が長距離コース、午後が短距離コースとして設定しご利用者様に自由に選んで頂き、活動を実施。

体操では、ラジオ体操やストレッチ体操だけでなく、映像を見ながら行った。ものづくり活動

自身の作品作りや季節等をテーマに共同で作品の制作を実施。秋の文化祭で発表展示を行う。

社会経験活動

働きの収益分配金で外食や買い物を実施。自ら選択するという経験をする。

働き

不燃系のリサイクル作業、空き缶リサイクル作業、ペットボトルのリサイクル作業、牛乳パックのリサイクル作業、紙すきおよびポチ袋等自主製品の製作。

収益については、1期(4月~7月)分、2期(8月~11月)分、3期(12月~3月)分にご利用者様に工賃規定に則り、給与という形で分配した。

1期; 3,000円/1人、2期; 6,000円/1人、3期; 4,000円/1人。

音楽活動

週4回ある音楽活動では、選定した曲にあわせて歌ったりダンスをして楽しむ。

また、木曜日は午前と午後にグループ別でカラオケを実施。年に1度、その成果を発揮する舞台として、カラオケ大会やイベントでの発表を行う。

フリータイム

14時30分からティータイムまでの30分間で実施。それぞれ自分のしたい活動やスタッフとの面談などご利用者が気持ちよく降所していただくよう支援する。

レクリエーション活動

月に1回程度、ご利用者の意見を取り入れながらレクリエーションを実施。

熊取療育園相談室

1. 特定相談支援事業（指定）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
熊取町	計画作成	3	3	5	8	4	5	5	1	7	5	2	4	52
	モニタリング	19	12	17	16	12	14	14	12	13	17	12	10	168
泉佐野市	計画作成	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	2	0	8
	モニタリング	5	4	5	4	5	4	5	4	4	4	3	4	51
田尻町	計画作成	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	モニタリング	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	0	6
他市町	計画作成	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	モニタリング	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

2. 一般相談支援事業（指定）

利用実績なし

3. 熊取町相談支援事業（委託）

障害種別	実人数	身体障害	重症 心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳 機能障害	その他
障害者	50	1	2	26	17	1	1	1
障害児	6	0	0	4	0	0	0	2
計	56	1	2	30	17	1	1	3

延件数	ケース相談	自立支援協議会	その他（連絡会等）
件数	507	28	7
時間数（分）	26,285	3,370	762

4. グループ活動

活動日	活動内容	参加者	Vr
4月10日	茶話会&ゆめの森公園へ行こう	5	2
5月8日	ランチバイキングと美術館で絵画鑑賞	6	2
6月12日	茶話会&公園散策	6	2
7月10日	めんたいパークと人と自然の博物館へ行こう	6	2
8月7日	茶話会&コンサート鑑賞	3	2
9月13日	温泉と会席料理を楽しもう	7	3
10月16日	茶話会&貝塚市山手地区公民館まつり	5	2
11月13日	ミカン狩りとバーベキュー	5	2

12月11日	忘年会	6	2
1月8日	茶話会 & 初詣	6	2
2月5日	ニフレルへ行こう	6	2
3月5日	茶話会 & ダンス鑑賞 & 夕食会	3	2
	合計	33(8)	13(3)

1 () 内は実人数

2 Vr はボランティアの略称

4. 色ワーク

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)

() 内は実人数

5. その他

- ・「相談室だより」を毎月発行してきたが、10月より季刊紙として年4回発行に変更。
- ・色ワークは長年実人数1名の参加の状態が続いていたが、5月を最後に「色ワークを卒業します」とのことで、利用がなくなった。元々放課後の行き場が日帰りショートステイしかなかった頃に、月1回の居場所づくりを兼ねて始めた支援であったが、近年、放課後等デイサービスが開始され、近隣にも急激にそれが増えたことで、色ワークの需要もなくなったと分析し、積極的な新規利用者募集もしていない。
- ・熊取町自立支援協議会に事務局として参画、月1回相談支援部会と事務局会議に出席、3年経過し、そろそろ協議会そのものの新たな動き、展開が求められている。
- ・医的ケアが必要な重度の身障（難病）の相談ケースが入って以来、ここに費やす時間がかなり増え、他の業務が圧迫されている。また、相談員にその専門性がないため、支援そのもののブレや後手の対応が目立っている。

・ ひろば 地域生活活動支援センター 型

1. 提供日数と利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	20	20	22	22	22	20	20	21	19	20	20	22	248
利用延人数	74	62	79	81	83	66	87	87	84	81	76	99	959

2. 登録状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	2	0	1	1	0	0	0	0	0	2	3	0	9

前年度累計 19

3. 見学状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
見学者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5

4. 職場内研修

- 4月 統合失調症について
- 5月 チームアプローチと他職種連携・地域協働について
- 7月 障がい者の権利擁護（虐待のメカニズム）について
- 8月 虐待チェックリストまとめ
- 10月 加齢に伴う心身の機能の変化について
認知症について
- 12月 障害者虐待防止法の理解と対応について
- 1月 アンガーマネジメントについて
- 3月 障害の重い人の意思決定支援について

5. その他

販売について

- 9/11 KIT フェスティバルで自主商品販売
- 11/5、6 町民文化祭で自主商品販売と作品展示
- 11/28 法人地域交流フェスで自主商品販売
- 12/4 農業祭で自主商品販売

6. 事業活動について

事業開始2年目となり、年間利用延べ人数は初年度より280名の大幅増加となった。新規登録者の利用および定着により、利用実人数も増加している。

活動においては、ご利用者が主体的に話し合うなんでもトークプログラムから、「Jリーグのサッカーを観に行きたい」、「みんなで何か一つの物を作りたい」などの希望が挙がり、ヤンマースタジアムでのサッカー観戦を企画から実施、看板製作の提案し、実施した。

支援においては、ご利用者の地域交流・社会参加の支援の一環として「法人の地域交流フェスティバル」に参加し、「呼び込み」や「接客」などを通してコミュニケーション支援を実施した。

また、面談および電話での相談を希望されたご利用者については、可能な限り対応した。

交流においては、泉佐野市にある地域活動支援センター「ルリエ」とバーベキュー大会を企画し、双方のご利用者・スタッフ総勢17名が参加し、互いの交流を深めた。

7. 活動内容

趣味的な活動

「カラオケ」、「卓球」、「将棋」など多岐に亘る趣味的な活動をプログラムに取り入れ実施した。

創作活動及び生産活動

貼り絵、手芸など、ご利用者個々に応じた活動(ご利用者の希望した活動)や、作品展に向けた作品制作を取り入れている。生産活動としては、不燃系のリサイクル作業を取り入れている。

健康活動

ご利用者の日常生活は行動範囲が狭いため、近隣散策やストレッチ体操などをプログラムに取り入れ実施した。

社会参加活動

粉もんの日(昼食作り)、おやつ作りをプログラムに取り入れ実施した。参加希望者らでメニューを考え、当日は店に行き食材の購入を行っていただいた。また、「地域交流フェスティバル」などにバザーで参加した。

社会参加適応訓練

「自分の意見(気持ち)を言える」・「他人の意見(気持ち)に耳を傾ける」ことが出来るよう、ご利用者主体で話し合いを行う時間をプログラムに取り入れ実施した。社会参加に近づくためには時間を要するが、地道に活動を継続していく必要がある。

．ワークいっぽ

1. 提供日数

251日

就労継続支援 B 型事業（定員 14 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	20	21	20	22
利用延人数	324	331	366	352	326	319	321	326	312	321	306	328
利用率	1.10	1.18	1.19	1.20	1.11	1.09	1.09	1.11	1.11	1.09	1.09	1.06

就労移行支援事業（定員 6 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数	21	20	22	21	21	21	21	21	20	21	20	22
利用延人数	40	36	40	31	30	26	32	40	20	24	21	31
利用率	0.32	0.30	0.30	0.25	0.24	0.21	0.25	0.32	0.17	0.19	0.18	0.23

2. 利用状況

年齢別ご利用者状況

就労継続支援 B 型事業

年齢	18 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 ～ 60	61 ～ 65	66 ～	合計
男	2		1		1	1	2	2	4	2		15
女		1	1	1		1				1		5
合計	2	1	2	1	1	2	2	2	4	3	0	20

就労移行支援事業

年齢	～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 ～ 60	61 ～ 65	66 ～	合計
男							2					2+
女					1							1+
合計	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3+

印に数字：暫定支給量によるアセスメントのみの利用者

区分別ご利用者状況

就労継続支援 B 型事業

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	3		2	7	3			15
女			1	2	2			5
合計	3	0	3	9	5	0	0	20

就労移行支援事業

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	1+		1					2+
女	1							1+
合計	2+	0	1	0		0	0	3+

印に数字：暫定支給量によるアセスメントのみの利用者

利用者の推移

I . K	利用開始（平成 28 年 4 月 1 日～）
K . N	利用開始（平成 28 年 5 月 2 日～）
K . N	利用開始（平成 28 年 6 月 1 日～）
T . H	利用開始（平成 29 年 3 月 1 日～）
M . N	利用開始（平成 29 年 3 月 14 日）
I . K	利用終了（～平成 28 年 7 月 31 日）
H . M	利用終了（～平成 28 年 7 月 31 日）
S . M	利用終了（～平成 28 年 1 月 31 日）

< 暫定支給量によるアセスメントのご利用者 >

S . K	平成 28 年 8 月～ 4 日間
K . N	平成 28 年 8 月～ 4 日間
K . Y	平成 28 年 11 月～ 18 日間
F . M	平成 28 年 12 月～ 3 日間

長期欠席（連続 7 日以上欠席）

利用者名	利用事業	期間	理由
K . N	就労継続 B 型	6/7～6/30	入院のため
S . M	就労継続 B 型	7/19～H29.1.31	精神的な不安定により
H . M	就労継続 B 型	8/1～8/31	入院のため

事故及びヒヤリハット

ヒヤリハット

K . J	平成 28 年 6 月 13 日 異物摂取
-------	-----------------------

K . S 平成 29 年 1 月 13 日 無断外出
 車両 平成 28 年 12 月 20 日 走行中にパンク
 事故
 車両 平成 28 年 10 月 19 日 商業施設駐車場にて停車中の車両に接触。
 Y . H 平成 29 年 1 月 13 日 作業中に転倒。外傷なし。

職員の推移

入職者

N . T 平成 28 年 4 月 職業指導員
 E . M 平成 28 年 6 月 生活支援員
 Y . T 平成 28 年 7 月 生活支援員

退職者

S . T 平成 28 年 4 月末日

事業所全体行事等

日時	内容	場所
6/3	木下大サーカス外出	鶴見緑地公園
6/13	害虫駆除	ワークいっぽ
6/30	避難訓練	ワークいっぽ
7/23	手作りおやつ	ワークいっぽ
8/22	施設内映画鑑賞	ワークいっぽ
	慰労会外食	バイキング左近
10/27	害虫駆除	ワークいっぽ
11/27	地域交流フェスティバル	熊取療育園
11/30	避難訓練	ワークいっぽ
12/28	慰労会外食	バイキング左近
1/4	新年挨拶・新年会	ワークいっぽ

研修

(ア)職場内研修

平成 28 年 4 月 法人内全体研修（初任）...1 名
 外部研修の研修報告を会議または終礼時に実施。
 職場内については主に毎日職員終礼の際に、最新の情報やケース検討等を実施。

(イ)外部研修

平成 28 年 5 月 ジョブネット泉州南 1 名
 9 月 「精神障害者の就労支援セミナー」 1 名
 9 月 ジョブネット泉州南 1 名
 11 月 「新任職員のための虐待防止研修」 2 名

11月	「障がい者虐待防止・権利擁護研修」	1名
12月	「障がい者虐待防止・権利擁護研修」	1名
平成29年1月	就業支援基礎研修(4回)	1名
3月	泉南支援学校「働くを支える」学習会	1名

実習・見学

(ア)実習 : 6/16～6/17 佐野支援学校高等部3年生1名 付添教諭1名
 10/21～10/25 佐野支援学校高等部3年生2名 付添教諭1名

(イ)見学

月日	見学者	人数
4/7	本人及び関係者	2名
5/7	本人及び関係者	2名
5/11	本人及び関係者	3名
8/2	泉南支援学校・本人及び関係者	7名
8/8	本人及び関係者	3名
8/23	佐野支援学校・本人及び関係者	7名
9/14	本人及び関係者	2名
10/14	本人及び関係者	2名
10/21	本人及び関係者	2名
10/26	本人及び関係者	2名
11/22	障がい者自立支援センターほっぷ職員	2名
12/15	本人及び関係者	2名
2/6	本人及び関係者	2名
2/15	本人及び	2名
2/22	本人及び関係者	2名
3/9	本人及び関係者	2名
3/28	本人及び関係者	2名

その他

- ・ワークいっぽの多目的室の充実のため、熊取町立図書館よりリサイクル図書をいただく。
- ・より快適なご利用と感染症予防を目的に、3階多目的室内に流し台を設置。
- ・服の汚れ防止、作業内容によっては品質向上、異物混入防止等を目的にユニフォームとしてエプロンを作成。

消防、防災について

消防計画に則り、避難や避難経路確認、ビル所有者及びテナントと避難誘導訓練を実施。

平成28年6月30日	避難訓練
平成28年11月30日	総合訓練
平成29年3月6日	総合訓練

就労継続支援 B 型事業

1. 活動内容

現在取引のある各企業より依頼のあった仕事を優先的に取り組む他に、施設外就労として毎日実施する。また、印刷及び清掃については取引企業や施設外就労の状況を鑑みて実施。

2. 各種仕事の状況

企業名等	内容	開始時期～終了時期	備考
Fダンボール	紙管の作成	開所時より継続	
Tタオル	タオルの袋詰め	開所時より継続	
N梱包所	軍手の結束	開所時より継続	毎日実施
K金属	蝶番組立	開所時より継続	頻度は少ない
Sプロダクト	ラベル貼り	開所時より継続	頻度は少ない
S化工	食器トレー仕上げ	開所時より継続	
T松	シャワキャップ箱詰め	平成 27 年 6 月～平成 28 年 6 月	
M企画	シール貼り	平成 28 年 6 月の 1 ヶ月	
I上	シール貼り	平成 28 年 7 月より継続	
Bズ	災害対策商品梱包	平成 28 年 12 月より継続	
ワークいっぽ	印刷	開所時より継続	当法人及び町より依頼
K霊園	清掃	開所時より継続	頻度は少ない
泉州ビル	清掃	平成 28 年 2 月より継続	月 4 回程度
阪急泉南 GF	サラダ野菜梱包	平成 28 年 7 月より継続	施設外就労として毎日実施

3. 売り上げと工賃

表 1 企業別売上

仕事名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	各種合計数
Fダンボール	¥7,600	¥7,600	¥6,650	¥5,225	¥4,750	¥3,800	¥7,125	¥2,375	¥3,325	¥3,800	¥4,275	¥3,800	¥60,325
中谷梱包所	¥38,943	¥39,501	¥43,902	¥48,240	¥39,960	¥41,247	¥39,699	¥35,001	¥37,206	¥33,336	¥39,150	¥37,395	¥473,580
Sプロダクト	¥4,267	¥1,727	¥3,894	¥3,928	¥450	¥2,184	¥1,717	¥4,523	¥3,875	¥2,167	¥426	¥3,335	¥32,493
Tタオル	¥24,500	¥35,020	¥17,520	¥10,270	¥9,650	¥21,920	¥11,480	¥10,770	¥10,590	¥1,730	¥2,410	¥16,690	¥172,550
K霊園(清掃)	¥1,170	¥4,590	¥1,170	¥500	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥7,430
Bズ									¥2,100	¥1,500	¥900	¥2,400	¥6,900
T松	¥4,676	¥1,200	¥3,120										¥8,996
K金属	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥7,950	¥5,000	¥8,600	¥9,150	¥2,000	¥2,100	¥7,300	¥42,100
S化工・トレイ	¥0	¥0	¥3,330	¥7,210	¥8,060	¥7,265	¥7,205	¥9,040	¥8,910	¥9,000	¥1,155	¥0	¥61,175
S化工・シート	¥10,165	¥11,110	¥9,060	¥5,885	¥5,825	¥2,725	¥6,615	¥10,845	¥11,175	¥5,155	¥16,755	¥4,605	¥99,920
泉州ビル(清掃)	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥11,000	¥132,000
印刷	¥25,581	¥41,601	¥27,064	¥18,676	¥21,091	¥4,127	¥46,156	¥40,128	¥34,604	¥9,325	¥8,620	¥6,737	¥283,710
M企画			¥900										¥900
T紙業	¥0	¥425	¥0	¥0	¥0	¥0	¥595	¥0	¥0	¥0	¥510	¥0	¥1,530
阪急泉南GF(梱包)				¥50,632	¥35,944	¥9,360	¥61,395	¥97,657	¥114,073	¥115,499	¥105,528	¥120,795	¥710,883
阪急泉南GF(シール貼り)				¥6,517	¥8,183	¥5,673	¥11,714	¥13,516	¥12,444	¥6,471	¥9,263	¥12,012	¥85,793
I上				¥3,500	¥5,946	¥6,550	¥11,750	¥8,600	¥7,299	¥10,349	¥8,199	¥6,299	¥68,492
売上合計	¥127,902	¥153,774	¥127,610	¥171,583	¥150,859	¥123,801	¥221,451	¥252,055	¥265,751	¥211,332	¥210,291	¥232,368	¥2,248,777

就労移行支援事業

1. 活動内容

ご利用者の意向を汲めるよう面談を実施。

ご利用者の希望に沿える仕事を探すためにハローワークへ行く。

ご利用者と共に振り返りを行うため、定期評価を実施。

仕事への集中力・持続力の維持向上のため、内職を含めた作業を実施。

一般就労を想定して職場実習を実施。

2. 活動状況

月日	内容
H28.4/6	定期面談 A 氏
4/20	定期面談 B 氏
4/22	「自分を知る」プログラム A,B
5/6	定期面談 A 氏
5/18	定期面談 B 氏
5/25	履歴書記入練習 A 氏,B 氏
5/末	定期評価（就労アセスメント）
6/1	「自分を知る」プログラム
6//1	定期評価（就労アセスメント）
6/20～6/24	職場実習（株I 上）
7/6	定期面談 A 氏
8/末	定期評価（就労アセスメント）
9/26～9/30	職場実習（株I 上）
10/末	定期評価（就労アセスメント）
12/末	定期評価（就労アセスメント）
H29.1/13	定期面談 A 氏
2/28	職場実習（S 大阪）
3/30	定期面談 A 氏
3/30	定期評価（就労アセスメント）

わこう

1. 事業の目的

支給決定を受けたご利用者様が居宅等において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、従業者がご利用者様の身体やその他の状況及び環境に応じて、適正な指定居宅介護事業を提供することを目的とする。

2. 人員配置及びスタッフの推移

管理者、サービス提供責任者	1名（兼任）
常勤ヘルパー	3名
非常勤ヘルパー	1名（受託居宅専属）
派遣ヘルパー	3名（受託居宅専属）

3. 事業の内容

地域からのご利用者の増員を目指し、以下の結果となった。

居宅介護事業（家事援助）

ご利用者名	性別	時間数	契約日	頻度
O.M	女	7.5時間	H27.7	各週1回訪問
M.M	女	21.0時間	H27.8	週3回訪問
F.N	男	21.0時間	H27.10	週3回訪問
M.N	女	15.0時間	H28.2	週2回訪問
H.H	女	15.0時間	H28.2	週1回2人訪問
O.K	女	14.0時間	H28.4	週3回訪問
T.Y	女	23.0時間	H28.5 (H28.10契約解除)	週3回訪問
O.M	女	8.0時間	H28.5	週1回訪問
K.T	男	18.0時間	H28.10	週2.5回訪問
I.Y	男	5.0時間	H28.10	週1回訪問
M.M	女	17.0時間	H29.3	週3回訪問

- ・H28年度新規ご利用者のうち、初めて居宅介護事業を利用される方が4名おられる。
- ・5月に契約し支援をおこなっていましたが、ご利用者の障がい特性を理解できなかったため、10月には契約解除となる。

受託居宅（外部サービス利用型グループホーム）

法人のグループホーム（2か所：若葉ホーム、第2若葉ホーム）を外部サービス利用型として受託居宅介護サービスの身体介護を実施している。

H28.12月から若葉ホームに1名入居者が増え、5名の入居者のサービスをおこなっています。

若葉ホーム	ご利用者名	支給量(時間/月)
	S . A	15.0 時間
	N . M	17.0 時間
	K . N	15.0 時間
	S . K	21.0 時間
	F . K	20.0 時間

第2若葉	ご利用者名	支給量(時間/月)
	M . K	46.0 時間
	I . M	15.0 時間
	F . H	15.0 時間
	Y . H	15.0 時間
	O . K	52.5 時間

移動支援事業

熊取町、泉佐野市、阪南市、大阪市此花区の登録を行い実施。

実施地域	ご利用者名	性別	時間数	契約日	頻度
熊取町	F . M	男	10.0 時間	H27.7	利用なし
	H . G	男	12.0 時間	H27.11 (H29、3月契約解除)	月2～3回利用
	B . K	女	15.0 時間	H28.2	1回利用
	O . K	女	1.0 時間	H27.6	1回 / 3ヶ月利用
	N . A	男	12.0 時間	H28.10	月1回利用
	K . T	男	18.0 時間	H28.11	月1回利用
	K . N	女	9.0 時間	H29.1	月1回利用
泉佐野市	K . R	女	5.0 時間	H27.6	月1回利用
	O . M	女	5.0 時間	H28.1	週1回利用
阪南市	N . T	女	20.0 時間	H27.8	月2回利用
大阪市此花区	Y . H	女	16.0 時間	H28.9	月2回利用

・1名のご利用者様に、事業所の都合でH29.3月に契約解除となる。

5. ヒヤリハット

事故防止のために、意識的にヒヤリハットの作成を試みた結果、2件のヒヤリハットがあった。また、ヒヤリハットが出たときには、スタッフ会議にて報告し、事故につなげないように解決策を話し合っている。

移動の際の階段、段差でのふらつき 1件

忘れ物 1件

6. 苦情解決

・2件の苦情があがった。

・1件目は、サービス内容に関する事項であり、支援内容に不満等が出されたので、ご利用者と話し合いをし、希望される方法で支援していくことで解決。

・2件目は、最初はヘルパーに対しての不満であったためヘルパーを変えて対応するが、事業所側がご本人の障がい特性を理解しきれなかったこともあり契約解除となった。